

取付説明書



ディーズ デコ ティンバー

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく取付けをして頂くために、取付説明書をよくお読みください。

禁止

- ◆本製品を「防護柵」など荷重を受けるような部分に使用しないでください。
破損して事故につながる可能性があります。
- ◆本製品にフェンスなどの重量物を取付けしないでください。変形・破損の可能性があります。

〈施工上のご注意〉

- ◆取付けが不十分だと、使用中にはずれる恐れがあります。この取付説明書に従い確実に固定してください。
- ◆モルタルやコンクリートボンド等の養生は十分に行ってください。
- ◆製品表面に付着したモルタルやコンクリートボンド等は速やかに除去してください。
- ◆施工の際には手袋を着用してください。

梱包明細表

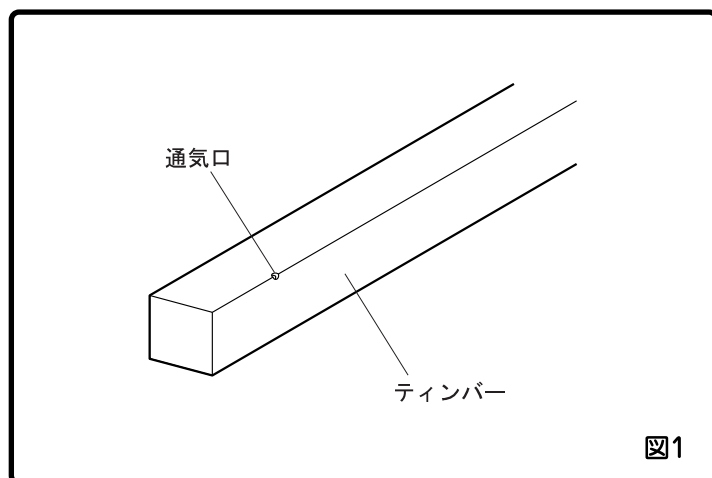
- ・開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- ・商品に異常がないことをご確認ください。

名 称	数 量		名 称	数 量	
	L = 1400	L = 1850, 2100		L = 1400	L = 1850, 2100
ティンバー	1	1	M5ナット	4	6
取付プレート	2	3	取付説明書	1	1
M5×60両切ボルト	4	6	取扱説明書	1	1
平ワッシャ	4	6	保証書	1	1

■施工前に必ずお読みください

- 1 製品には1ヶ所通気口が設けてあります(図1参照)。
角柱として使用される場合は、通気口側を下にして施工してください。

※ 空気の膨張・収縮による変形を防ぐために、ティンバーには予め通気口を設けていますが、施工時この通気口が埋まってしまう場合は、新たに通気口をあけなおして下さい。



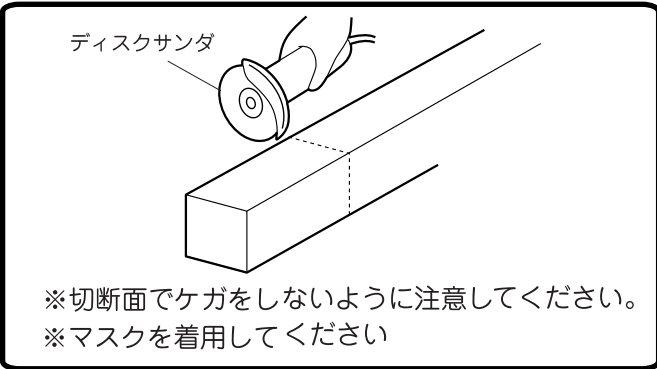
- 2 切断して2本使いされる場合、この通気口が上部に来ます。目立たない方向に通気口が来る様に、製品の向きに注意してください。

注意 製品1本につき1個の通気口が必要となりますので、施工前に必ずGLより少し上方にドリルでφ6程度の穴を1ヶ所設けてください。

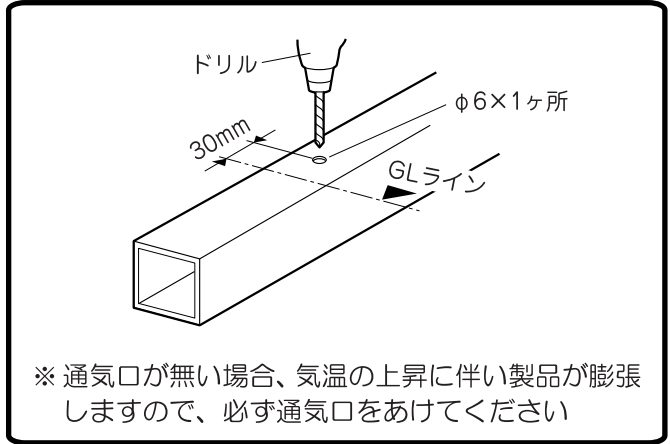
■ 施工手順

独立柱として施工する場合

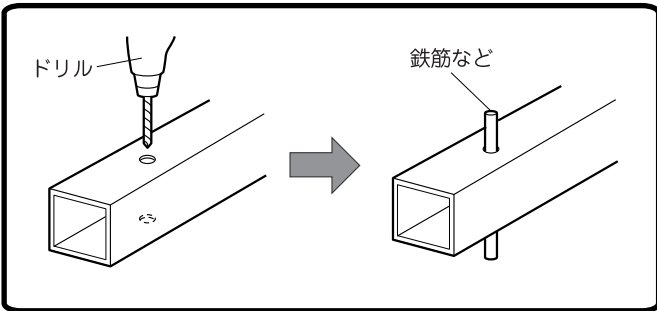
1 必要に応じて製品下部を長さ調整のために切断します。切断工具はディスクサンダや金のこをご使用ください。長さ調整が不要な場合でも施工時、製品の浮き上がりを防ぐため底面のフタのみ切断してください。



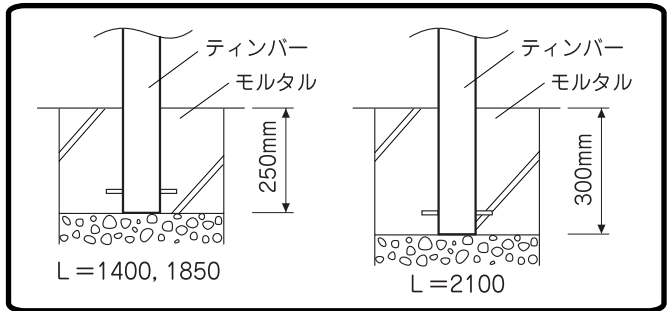
2 GLラインから30mm上がりの位置に、φ6程度の通気口を1箇所ドリルであけます。



3 モルタルにて埋まる部分に穴をあけ、鉄筋などを差し込み抜け止め処理をします。



4 下図にしたがって足もとをモルタルで埋め込み固定します。そえ木などで仮固定してください。

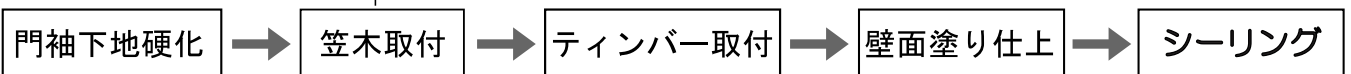


門袖などの壁付けとして施工する場合

※この説明書は、コンクリートブロック・塗り仕上の門袖を例に、その施工手順を示したものです。

■ 施工順序

笠木を取付けない場合は省略します



1 門袖下地を施工し、十分に乾燥させます。

※注意 同時に「ディースデコ 笠木」を施工される場合は、笠木の寸法により門袖幅が決定されますので、下図寸法にしたがって門袖下地を施工してください。

笠木 L	門袖下地幅
845	835~840
1045	1035~1040
1245	1235~1240

単位 (mm)

2 「ディースデコ 笠木」を取付ける場合



この時点で笠木の取付を行います。取付け方は笠木の取付説明書に従ってください。

3 ドリルを使用し、金具取付用の穴と通気口をティンバーにあけます。

笠木を取付けない場合

笠木を取付ける場合

※L=1400のティンバーの場合、金具は2ヶ所となります。

通気口
φ6×1箇所

目立たない側に
あけてください

※上図はティンバー55×165を示していますが、その他のティンバーを壁面に取付ける場合も同様の手順で加工・金具取付けを行ってください。

単位 (mm)

4 下図の要領で穴に取付プレートを差し込み、両切りボルトを立てナットで固定します。

M5x60両切ボルト

取付プレート

M5ナット
平ワッシャ

5 取付面にボルト位置をけがき、振動ドリルにてボルト埋込用の穴をあけます。

笠木を取付けない場合

ティンバー

ボルト埋込用穴

笠木を取付ける場合

笠木

ティンバー

ボルト埋込用穴

6 コンクリートボンドを穴の中とボルトの両方に塗ってから、ボルトを穴に差し込みティンバー取付位置の微調整を行います。※コンクリートボンドは十分に壁側に食いつかせてください

笠木を取付けない場合

コンクリートボンド充填

コンクリートボンド塗布

ティンバー

笠木を取付ける場合

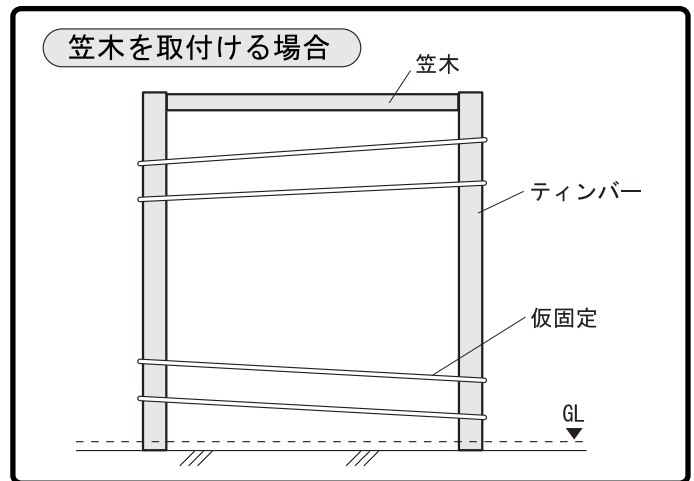
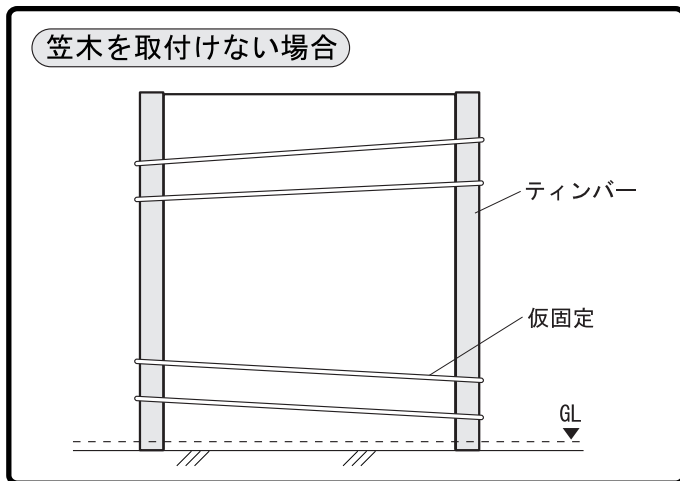
笠木

コンクリートボンド充填

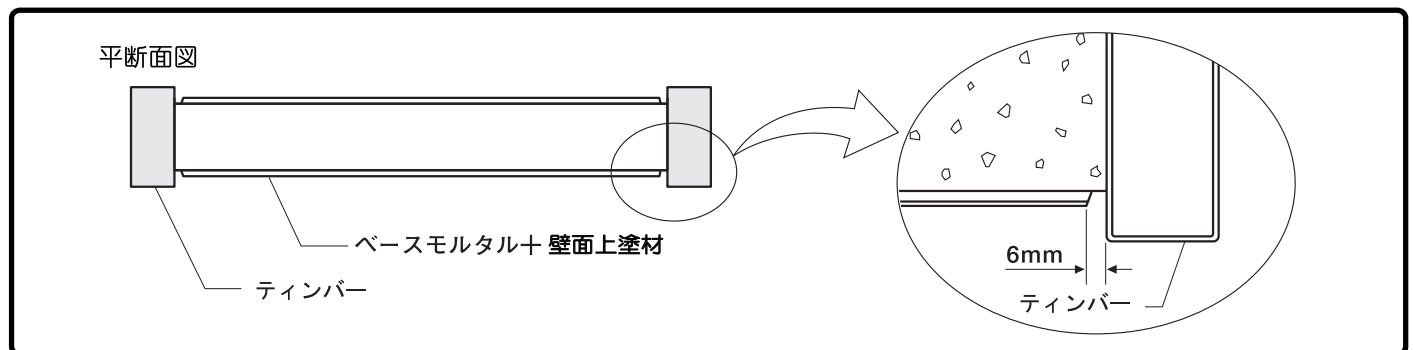
コンクリートボンド塗布

ティンバー

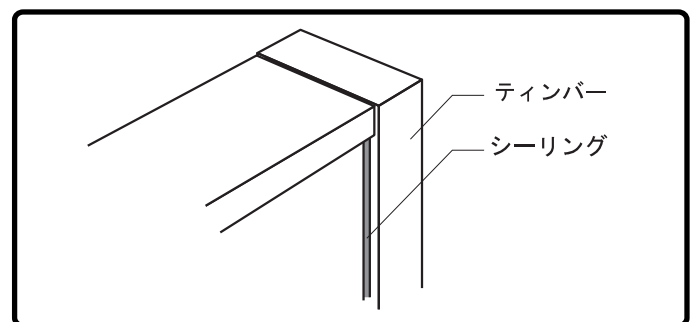
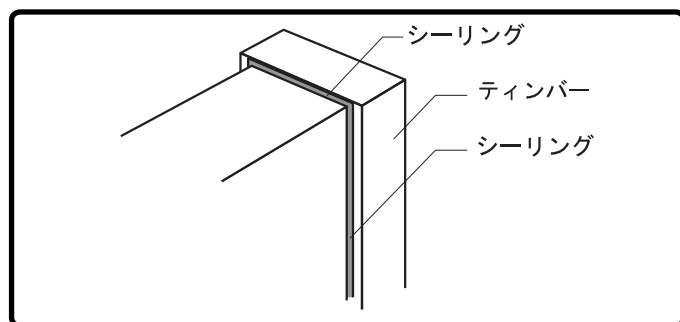
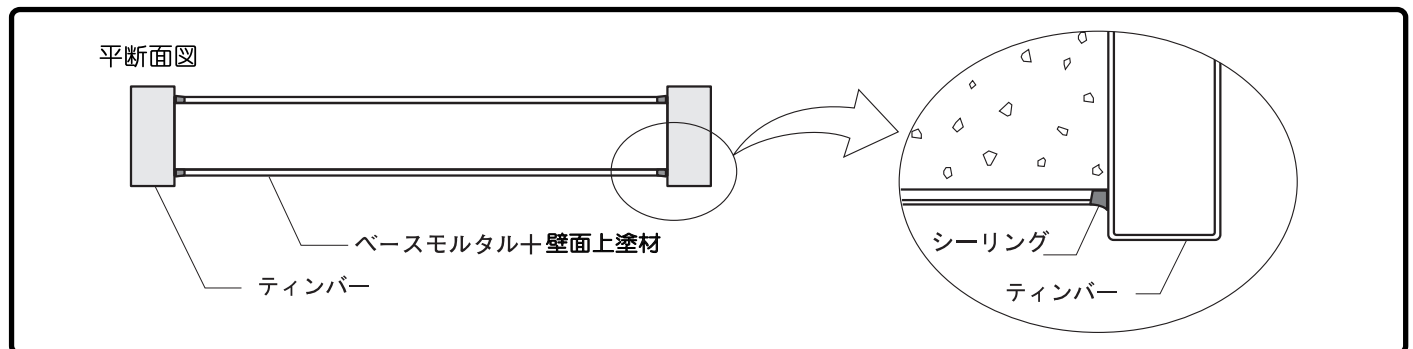
7 コンクリートボンドが硬化するまで仮固定をし、位置ズレを防止します。



8 壁とティンバーの境界に幅6mm程度の目地を取ってベースモルタル、壁面上塗材を施工します。



9 上記が十分に乾燥した後、マスキングを施し、壁面上塗材と同系色の【変性シリコン】でシーリングを行います。



工事店様へ

- 改造、変更はしないでください。
- 取付け終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45
 TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
 ディーズガーデン 株式会社 傳來工房

DSH-IM9
2009.04A